

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | 神奈川12期棟建設工事-2期棟 | 階数 | 地上7F |
| 建設地 | 神奈川県相模原市中央区下九沢1120 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 法22条区域、伝搬障害防止区域 | 平均居住人員 | 1,653 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2023年10月 予定 | 評価の実施日 | 2022年1月31日 |
| 敷地面積 | 4,898 m ² | 作成者 | 竹歳 晃 |
| 建築面積 | 2,178 m ² | 確認日 | |
| 延床面積 | 12,335 m ² | 確認者 | |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項

| 総合 | その他 | |
|--|--|---|
| 本建屋用途として免震層や非常発電、電源設備など、地震時・強風時の内部設備保護に関する性能を強化している。また、照明に関してのエネルギーの有効利用が図られており、人間諸活動への影響に関する低減対策を講じている。 | | |
| Q1 室内環境 特になし | Q2 サービス性能 免震層や非常発電、電源設備など、地震時・強風時の内部設備保護に関する性能を強化している。 | Q3 室外環境(敷地内) 特になし |
| LR1 エネルギー 特になし | LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が容易に分別でき、消火剤は不活性ガスを採用。 | LR3 敷地外環境 照明に関してのエネルギーの有効利用が図られており、人間諸活動への影響に関する低減対策を講じている。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される